

対象国の条件:

研修コース番号 :J1804256

案件番号 :1884457

主分野課題 :保健医療/その他保健医療

副分野課題 :農業開発・農村開発/その他農業開発・農村開発

使用言語 :英語

案件概要

中央政府の食品安全担当部局の行政官・検査官を対象に、日本の食品衛生に関する政策、法律および地方自治体や検査機関等の役割と連携体制等の講義や見学を行う。研修を通じて食品衛生における調査から対処までの一連の流れを体系的に理解し、研修参加国において取り組むべき改善案を纏める。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

中央政府の食品安全・農産物の安全担当部局の行政官・検査官により、自国における食品安全に関する中央、地方行政、検査機関等のネットワーク構築および機能強化に資する業務改善計画が策定される。

【対象組織】

中央政府の食品安全及び農産物の安全担当部局及び検査機関

【成果】

1. 日本及び研修参加国の食品安全に関する役割と連携体制、政策が共有され、自国の課題が明らかにされる。
2. 日本の食品安全に関するライセンス、監視・検査体制および食品取扱業者の取り組みや検査機関の役割について説明できる。
3. 本邦研修で得た知見を活用した所属組織で取り組む業務改善計画の策定能力が向上される。

【対象人材】

食品安全及び農産物の安全を担当する行政官及び検査官

内容

1. 日本における食品衛生水準向上に関する取り組みの歴史
2. 食品衛生の行政体系
3. 日本の食品衛生法
4. 食品安全監視体制と食中毒対策及び輸入食品の検査体制
5. 食品表示制度
6. 日本におけるWTO, Codex対応
7. 食品衛生における地方自治体の役割
8. 市場の監視指導体制
9. 食品衛生管理における事業者の取組
10. 食品安全委員会の役割と食品のリスク分析
11. 食品衛生におけるリスク管理
12. HACCP研修
13. 衛生研究所の役割
14. 残留農薬の検査

本邦研修期間

2018/9/29～2018/11/1

担当課題部

人間開発部

所管国内機関

JICA九州

関係省庁

厚生労働省

実施年度

2016～2018

主要協力機関

公益財団法人 北九州国際技術協力協会 (KITA)

特記事項  
及び  
ホームページ